

ゴミ分別の大切さ知って

エムダイヤ若手社員 東部小で授業



エムダイヤの若手社員(左)が企画した授業を受ける児童

滑川

滑川市中村のリサイクル機械メーカー、エムダイヤは21日、近くの同市東部小学校でゴミの分別をテーマにした授業を開いた。入社1、3年目の若手社員2人が初めて企画し、4年生22人が参加した。

児童は車のタイヤの一部を触り、使われている素材を当てるクイズのほか、傘

や瓶など普段目になっているものが燃えるごみか、燃えないごみかを考えるミニゲームを楽しんだ。

社員は「物を分別することで、長く使い続けることができ、サーキュラーエコノミー(循環経済)につながる」などと伝え、児童は「ゴミを分別する大切さが分かった」と話していた。